

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム白寿荘
日付	平成18年1月17日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	居宅介護支援事業所での認知症高齢者介護歴4年  病院での老人性痴呆疾患専門相談チーム員歴5年
<a href="#">自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)</a>	
<a href="#">事業所のコメントを見る (評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)</a>	

外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・ホームは、JR駅から2キロほどの距離にあり、周辺は田畑で静かな環境です。
・1ユニット、6人と小規模のホームです。全員が一つの家族のような雰囲気があり、入居者とスタッフとが信頼関係で結ばれていることが伝わってきます。
・共用部分は比較的狭いスペースですが、それをメリットと受け止め、打てば響くような対応で馴染みの関係が深まっているように感じられます。
・併設の特別養護老人ホーム(以下、「特養」という。)との連携が円滑にできています。特養の行事やリハビリへの参加など、併設の機能を上手く活用し、入居者の行動範囲が広がる活動性のある生活をすすめています。
・家族との連携が図れています。家族会のアンケートを活用しながら、どんな相談でもできるように信頼関係を築いています。
・管理者とスタッフが明るく前向きです。入居者の方から学ぶ姿勢で介護しており、「日々の感動と気づき」を大切にしています。
・なによりも入居者の方の表情が明るいことが印象的でした。
<b>特に改善の余地があると思われる点</b>
・風呂場前にある宿直室として使用されていたスペースを整理し、上手に活用することで、脱衣室への入居者の移動もしやすくなるのではないのでしょうか。
・前回の要改善事項にも関連しますが、居室の目印については、職員の誘導がなくても、入居者が部屋を間違えないような、個別の状況に応じた配慮が必要ではないのでしょうか。
・事故報告はありますが、マニュアル改訂などの検討に活かせるよう、ヒヤリハット報告書も作成に向けて検討を進められてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<p>・特養と併設したホームですが、区別された独自の理念で取り組まれています。</p> <p>・ホームの理念として、「個別ケアを大切にするグループケアの推進」、「尊重を確保し楽しい豊かな生活」、「家族との連携でより家庭的なケア」、「特養との連携で相互受容を」、「ホームを支える地域社会や協力体制の確保」という5項目を掲げています。これらは、職員がいつでも目の届きやすいように事務室に掲示されています。</p>				

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<p>・グループホームとして大まかな日課はありますが、入居者の状況によって、個別に散歩に出かけたり、話し合ったりして対応するなど、入居者が落ち着いて生活できるよう配慮されています。</p>				

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<p>・スタッフは、一人ひとりの生活見直しシートを作成するとともに、家族からはアンケートを通じて、入居者の生活歴や家族の要望を収集しています。これらを基に入居者を多角的に理解し、ケアプランを立案することで、日常の支援に反映させるよう努力されています。</p> <p>・ホーム内には入居者の写真を掲示していますが、本人、家族に口頭と書面で了解を得ています。</p>				

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<p>・緊急時や苦情発生時のマニュアルなどを作成しており、これらを活用して事故の再発防止に努めています。</p> <p>・「食べる楽しみ」を特に大切と考えており、旬の食材を多く取り入れるなど配慮されています。</p> <p>・家族会の開催や家族へのアンケートの実施などを通じて、要望を収集するとともに、定期的な新聞の発行を通して情報提供を行うなど、家族との連携に努力されています。</p>				